

# アルコール関連問題の解決に向けて

アサヒビール株式会社  
近畿圏市場開発支社 支社長 古川充彦



ご愛顧いただき、心より厚く御礼申し上げます。過去数千年もの長い間、人々から愛されてきましたお酒。適量の飲酒であれば、気分も身体も心地よくなり、私たちの人生を豊かで味わい深いものにしてくれる存在です。

（1）「不適切な飲酒の撲滅」の創出によるアルコール関連問題の解決」をテーマとして、関連問題に取り組んでいます。

2023年からは、「飲んでも飲めなくても、みんな飲みトモ。」というスローガンを掲げ、新たな飲用機会の創出によるアルコール関連問題の解決に取り組んでいます。

（2）「新たな飲用機会の創出によるアルコール関連問題の解決」の取り組みでは、お客様にまに対し、適切な飲酒量や健康リスクに関する情報をお酒はこのようなメリットをもたらす一方で、過度をもたらす一方で、過度をしてくる存在です。

（3）「スマートドリンクング」（通称「スマドリ」）によるビジネス戦略なども、吉本興業株式会社と一緒に取り組んでいます。

## 不適切な飲酒の撲滅とスマートドリンクングの推進

適量な飲酒や不適切な飲酒による健康被害や社会的なトラブルを引き起こす可能性があり、お酒との正しい付き合い方が大切です。アサヒビールでは、酒類を製造・販売する企業としての社会的責任を果たすべく、「責任ある飲酒」をサステナビリティの重点課題に掲げ、「不適切な飲酒の撲滅」をめざして各種取り組みを行っています。

適量な飲酒や不適切な飲酒による健康被害や社会的なトラブルを引き起こす可能性があり、お酒との正しい付き合い方が大切です。アサヒビールでは、酒類を製造・販売する企業としての社会的責任を果たすべく、「責任ある飲酒」をサステナビリティの重点課題に掲げ、「不適切な飲酒の撲滅」をめざして各種取り組みを行っています。

（1）「不適切な飲酒の撲滅」の取り組みでは、お客様にまに対し、適切な飲酒アルコール度数を選択する機会を広げ、自ら純アルコール摂取量を管理できるようにするという考

えのもと、低アルコール飲酒行動について正しい知識を持ち、適切な判断を下すことができるよう支援しています。また、アルコール消費に関する環境や社会的な影響に対する課題は複雑であり、解決するには包括的なアプローチが必要です。アサヒビールはその一翼を担います。また主な商品にない時など、さまざまな人が、不適切な飲酒を防ぐための撲滅に向けて努力するとともに、新たな飲用機会の創出を通じて、酒類文化の健全な発展に向け取り組み、人々の選びやすいよう、環境づくりを推進していくことを目指していきます。